

2020年度 大学院医学研究科 基礎臨床共通講義Ⅱ（後期日程表）

基礎臨床共通講義Ⅱ-医科学研究特論-

No.	開講期間	タイトル	担当教員	専門分野	講義内容
1	R2.09.16(水) 10:00 ～ R2.09.23(水) 10:00	受精卵における染色体DNA複製と有糸分裂	平井 和之	ゲノム・遺伝学	卵と精子由来の2つの一倍体核をもとに接合子の二倍体核が形成される機構について、最新の知見を紹介する。
2	R2.09.28(月) 10:00 ～ R2.10.05(月) 10:00	血管生物学分野における最新の知見	末弘 淳一	分子細胞薬理学	血管内皮細胞を用いた遺伝子発現解析や薬物スクリーニングなど、本分野における基礎研究と応用を紹介する。
3	【対面講義】 R2.10.05(月) 18:30 ～ 20:00	抗がん剤の薬理学	宮 敏路	呼吸器・甲状腺外科学	抗がん剤の薬物動態学について概説し、分子標的薬剤、免疫チェックポイント阻害剤など、近年のがん薬物療法の進歩について解説します。
4	R2.10.08(木) 10:00 ～ R2.10.15(木) 10:00	多様なマクロファージ ～全身ではたらくユーティリティープレイヤー～	川上 貴久	腎臓・リウマチ膠原病内科学	マクロファージをただの炎症を起こす細胞だと思っていませんか？ 抗炎症作用、修復促進、血管新生、発生時の組織構築、抗原提示など多くのはたらきがあります。それらを俯瞰してみましょう。
5	R2.10.19(月) 17:30 ～	〈秋季〉研究報告会 (基礎棟3階会議室)			研究課題、背景、目的、方法、結果、学位論文完成までの予定を含めた学位論文進捗状況の報告 (2021年3月及び9月修了予定者)
6	R2.11.02(月) 10:00 ～ R2.11.09(月) 10:00	血管新生に関わるタンパク機能の解析	福原 大介	小児科学	近年、様々なゲノム情報が明らかにされ、それらゲノムの規定するタンパク機能を解明することは重要なテーマである。そこで、これまで行ってきた血管新生を例に、その手法を解説する。
7	【対面講義】 R2.11.20(金) 18:30 ～ 20:00	症例からはじまる高齢者摂食嚥下障害と誤嚥性肺炎のメカニズム解明と産学連携まで	海老原 孝枝	加齢医学	1症例からはじまった、誤嚥性肺炎メカニズム解明および予防戦略確立に至った経緯を紐解き、基礎研究に基づいたトランスレーショナルクリニカルサーチを講義する。
8	R2.11.24(火) 10:00 ～ R2.12.01(火) 10:00	神経免疫疾患と抗神経抗体 ～Guillain-Barre症候群を中心に～	内堀 歩	神経内科学	神経免疫疾患のひとつであるGuillain-Barre症候群では、先行感染に関連して自己抗体が産生され神経症状出現に関与しているとされる。検出される糖脂質抗体とその病態機序について紹介する。
9	R2.11.26(木) 10:00 ～ R2.12.03(木) 10:00	気管支喘息と気道炎症	中本 啓太郎	呼吸器内科学	気管支喘息の本態は慢性の気道炎症である。本講義では気道炎症の病態と気管支喘息の最新治療について紹介する。
10	R2.11.27(金) 10:00 ～ R2.12.04(金) 10:00	遺伝性乳癌卵巣癌症候群の最新情報	麻賀 創太	乳腺外科学	BRCA1/2遺伝子の病的変異により高い確率で乳癌・卵巣癌が発生する病態である遺伝性乳癌卵巣癌症候群について基礎から最新情報までをお話します。
11	【対面講義】 <del>R2.05.18(月)</del> R2.11.27(金) 18:30 ～ 20:00	Dual-energy CTの臨床的有用性	町田 治彦	放射線医学	Dual-energy CTは通常のCTと異なり2種類のX線エネルギーのデータを取得できる。今回、その臨床的有用性を紹介する。
12	R2.12.03(木) 10:00 ～ R2.12.10(木) 10:00	がん治療の新たな柱となるか？～ウイルス療法の現状と展望	田口 慧	泌尿器科学	がん治療用ウイルスを用いたウイルス療法の現況について概説する。
13	R2.12.09(水) 10:00 ～ R2.12.16(水) 10:00	脳梗塞治療の進歩と今後の展望	海野 佳子	脳卒中医学	最近数年の「脳梗塞治療におけるパラダイムシフト」と、2019年12月に施行の「脳卒中・循環器病対策基本法」について概説する。
14	R2.12.18(金) 10:00 ～ R2.12.25(金) 10:00	メタボリックシンドロームと遺伝素因	山本 隆史	代謝生化学	メタボリックシンドローム発症における遺伝因子の寄与やその遺伝的動物モデルから見出された遺伝子について紹介する。
15	R2.12.21(月) 10:00 ～ R2.12.28(月) 10:00	身体意識と機能回復	大木 紫	統合生理学	健常な身体意識とその病態について説明し、そこに介入することによる機能回復への効果について展望する。
16	【対面講義】 <del>R3.2.9(火)</del> R2.12.22(火) 18:30 ～ 20:00	全身性炎症性疾患と眼炎症疾患との接点	慶野 博	眼科学	本邦の代表的な眼炎症疾患(ぶどう膜炎)としてサルコイドーシスとベーチェット病が挙げられる。本講義では上記ぶどう膜炎の診断と治療の最前線について解説する。
17	【対面講義】 <del>R2.2.16</del> R2.12.25(金) 18:30 ～ 20:00	分子レベルから探る細胞内ストレス応答と神経変性疾患の関連	須賀 圭	分子機能生化学	神経変性疾患であるアルツハイマー病の発症機構と神経細胞で起こるストレス応答との関連を、Syntaxin5分子の機能から探る研究を紹介する。
18	【対面講義】 R3.01.12(火) 10:00 ～ R3.01.19(火) 10:00	大腸癌治療の変遷と手術教育について	吉敷 智和	消化器・一般外科学	大腸癌治療の変遷(手術、抗癌剤、放射線治療)と、手術教育に関する取り組みを講義します。
19	R3.01.29(金) 10:00 ～ R3.02.05(金) 10:00	臨床研究を始める前に	関 博志	麻酔科学	昨今、臨床研究を取り巻く状況は厳しさを増している。初めて臨床研究を行う前に最低限知っておくべきことを概説する。
20	R3.02.18(木) 10:00 ～ R3.02.25(木) 10:00	神経疾患における生理学的評価	寺田 さとみ	病態生理学	神経疾患で主に用いられる生理学的手法による検査や研究方法について概説し、併せて最近の知見を紹介する。
21	【対面講義】 R3.03.04(木) 18:30 ～ 20:00	アレルギー性鼻炎の病態と神経原性炎症	横井 秀格	耳鼻咽喉科学	アレルギー性鼻炎の症状発現には、鼻粘膜の知覚神経が関与するが、アレルギー性鼻炎における神経原性炎症について概説する。

【Web講義について】

- 特に記載のない講義は、Web形式で開催いたします。
- 開講期間は7日間です。各講義の事前に、Web講義用URLをメールでお知らせいたします。
  - 講義資料が動画の場合、ファイルサイズが大きくなります。ネットワーク環境が整っている場所で視聴することを推奨します。
  - 講義資料はダウンロードできません。  
講義資料は大学院生の視聴・閲覧のみを目的として作成しているため、大学院生以外の方の視聴・閲覧は固く禁止します。  
また、画像のコピーや転載・転用も固く禁止します。
  - 講義資料の視聴・閲覧だけでは出席と認められません。開講の際に通知するアンケートに、氏名を明記のうえ回答・送信することで出席とします。

【対面講義について】

- 対面講義の記載がある講義は、対面形式で開催いたします。場所は、基礎棟3階会議室です。
- 開講15分以降は、原則として参加は認めません。また、開講15分の時点で参加者が0名の場合は、中止といたします。
  - 講師が受講確認を行います。受講確認と併せて、講義終了後、アンケートの提出を以て受講したと認めます。

【公開論文発表会】

- 公開論文発表会 ・日程等は、医学研究科HPにより逐次公表します。
- 参加1回で共通講義Ⅱを1コマ受講したものとみなします。但し、2コマを限度とします。
- 出席確認として、公開論文発表会「参加者名簿」に記載が必要です（記載が無い場合、受講したと認めません）。

【特別講義（特別講演会）及び、イブニングセミナー】

- 日程は、医学研究科HPにより逐次公表します。
- 参加1回で共通講義Ⅱを1コマ受講したものとみなします。
- 出席確認として、特別講義（特別講演会）「参加者名簿」に記載が必要です（記載が無い場合、受講したと認めません）。